

NPO 法人いけはな文化振興普及協会いけはな works
〒203-0032
東京都東久留米市前沢 5-7-27 創美流華道會館内
電話 0424-71-4022(代) 電送 0424-71-1616
e-mail:ikehana-works@sobiryu.jp

御挨拶

代表理事 渡邊華靖

初冬の候 皆様御清穆の御事と御慶び申し上げます。

時に今上陛下の大嘗祭、大饗の儀、神宮への御親謁の儀の行幸啓も無事に終へられました。新しき御世の歳を迎える為の準備として師走を迎える中、各家々でも越年の準備が始まります。

神事、藝道では、まず基本として一に掃除、二に掃除、三、四がなくて五に掃除と申しますが、この師走という月は 年の終わりの月というよりは正月を迎える準備の月であり農事を終えて正月事始め（事納め）として社寺などで煤払いが始まります。いわゆる大掃除で、これは歳神様を迎える為の清めであり、収穫の祭りを終え、翌年の田植えまでの間、冬ごもりをして春に備え、より良い豊穰を祈る一連の行事の始まりと言えます。合せて冬至には粥を作り蒟蒻や南瓜を食し、柚子湯に入り、この冬ごもりを無病息災で送れる様祈念します。

大掃除をすると共に歳神様を迎える正月飾りをするわけですが、当家では毎年二十八日に致します。二十九日（苦飾り）と三十一日（一夜飾り）の飾り付けは良くないとされ、餅つきも二十九日は苦餅と言って避け、それ以外の日で早めに準備をすると良いとされています。飾りは質素ではありますが、当家の門松は一本で八垂^{やたれ}をつけて入口正面に立てます。鏡餅は三段重ねで大床を初め神殿、祖霊舎、荒神、水神等十ヶ所にお供えしています。大床の鏡餅のみ橙（冬を経ても実が落ちず 代々に通ずる）と、稻穂（種子粃を受ける意）を載せ、讓葉一對（讓られたものとしての意）と裏白一對（齡垂るにかけて長寿の縁起物）と昆布（熨斗の代用として）そして四垂^{しで}を付して飾ります。大床には祖霊神の神號軸を掛け床の花に若松（歳神迎の為）七本活けと萬年菁（熨斗の意）、そして玄関には迎え花として松竹梅をいけ、厳かな気持ちで大晦日を迎えるのであります。この大晦日に大祓をし、家の四方祓と水神祭を齋行して新玉の歳を迎える行事を毎年重ねてゆく事が、家の伝承として子孫に残され、地域、国の文化の礎として日本の心を今に伝え、それが日本の誇りになって行くのであります。

御大典奉祝

新たなる御世を言壽國民^{ことほぐくにたみ}の生活とはにいや榮えかし
御即位を言壽ぎ奉り新たなる御世の榮えを我は祈らむ
榮えませ御世の始めに祈り込め菊花一色たて、捧げむ

事務局より

事務局長 山内瀬舟

会報を発行が滞りまして、会員の皆様には大変失礼いたしました。
今後も社会発信事業を続けて参りたく存じますので皆様方の御協力をお願い申し上げます。
正会員の方には総会の御報告を同封させていただきます。
なお、御案内が不要の方はお手数おかけしますがその旨お知らせ下さい。
また、退会されます方はお手数でも御一報頂けますようお願い申し上げます。
・「近江神宮令和二年度暦」を同封しましたのでご利用下さい。

平成 30 年度 事業報告

○第 15 回定期総会

30 年 5 月 4 日（金） 於：創美流華道会館

事業報告、事業計画、収支決算、予算案についての審議を行いました。

正会員には報告書を同封しております。

○NP0 フェスタ in 元気村 2018

30 年 10 月 28 日 於：小平元気村おがわ東

小平市内（東京都）のボランティア活動の中で、いけばなの紹介と展示を行いました。地域で学ぶ小・中・大学生の作品を主として 12 点の作品を展示。



制作の様子

○第 8 回江戸の華會 今上陛下御即位 30 年奉祝

31 年 1 月 26 日・27 日 於：楞伽山 天眼寺（東京都台東区）

下町の寺院にて和のスタイルの華会を開催。本堂や書院に新年を寿ぐ華をいけ、投扇興を楽しみ、花に親しめる空間となりました。また、27 日には文武両道塾長による刀道演武・試斬、刀道四方祓の後、供華之儀、祝聖諷経、華供養の法會を齋行致し、最後に東瑞芳和尚様による講話を頂きました。16 名 12 作品の展示がありましたが、出瓶作品の一部を紹介します。

後 援：東京新聞したまち支局 協 力：投扇鳳凰會 文武両道塾



鈴木康子（本堂）



岡田鳳梢（本堂）



日高容子（本堂）



渡邊華扇（本堂）



市川碧水（本堂）

<記事掲載> 東京新聞 したまち版・平成31年1月26日 都内版・1月27日

東京新聞 2019年(平成31年)1月26日(土曜日) したまち 地域の情報 20

華麗な生け花 本堂を彩る

あすまで 谷中・天眼寺で展示



縁側に華やかな作品を生ける杉本彩鳳さん＝台東区で

寺の本堂や書院を、流派の枠を超えた多様な生け花で彩る催し「江戸の華會」(東京新聞後援)が二十六、二十七日、江戸時代に創建された台東区の天眼寺(谷中一、東瑞芳住職)で開かれる。八回目の今年は、天皇陛下即位三十年奉祝を掲げた展示となる。

NPO法人「いけばな文化振興普及協会 いけばなワークス」(事務局・東久留米市)の主催。合作も含め、都内や神奈川県内の十六人が計十二作品を出品、前日の二十五日から生け込み作業が行われた。

創美流華道の杉本彩鳳さん(七〇)＝練馬区は、不規則に組んだ白木に、黄色いオンシジウムなどを配した現代的な生け花を縁側に飾った。「奉祝なので、華やかな雰囲気を出した。背景の枯れ山水のような庭とは正反対だが、うまく合っているようだ」と杉本さんは話した。

入場無料。二十六日は午後一～四時、二十七日は午前十時～午後三時で、午前に刀道演武がある。終了後、即位三十年に祝意を表す法要や華供養を行う。問い合わせは、天眼寺＝電話03(3821)7718＝へ。(井上幸一)

したまち

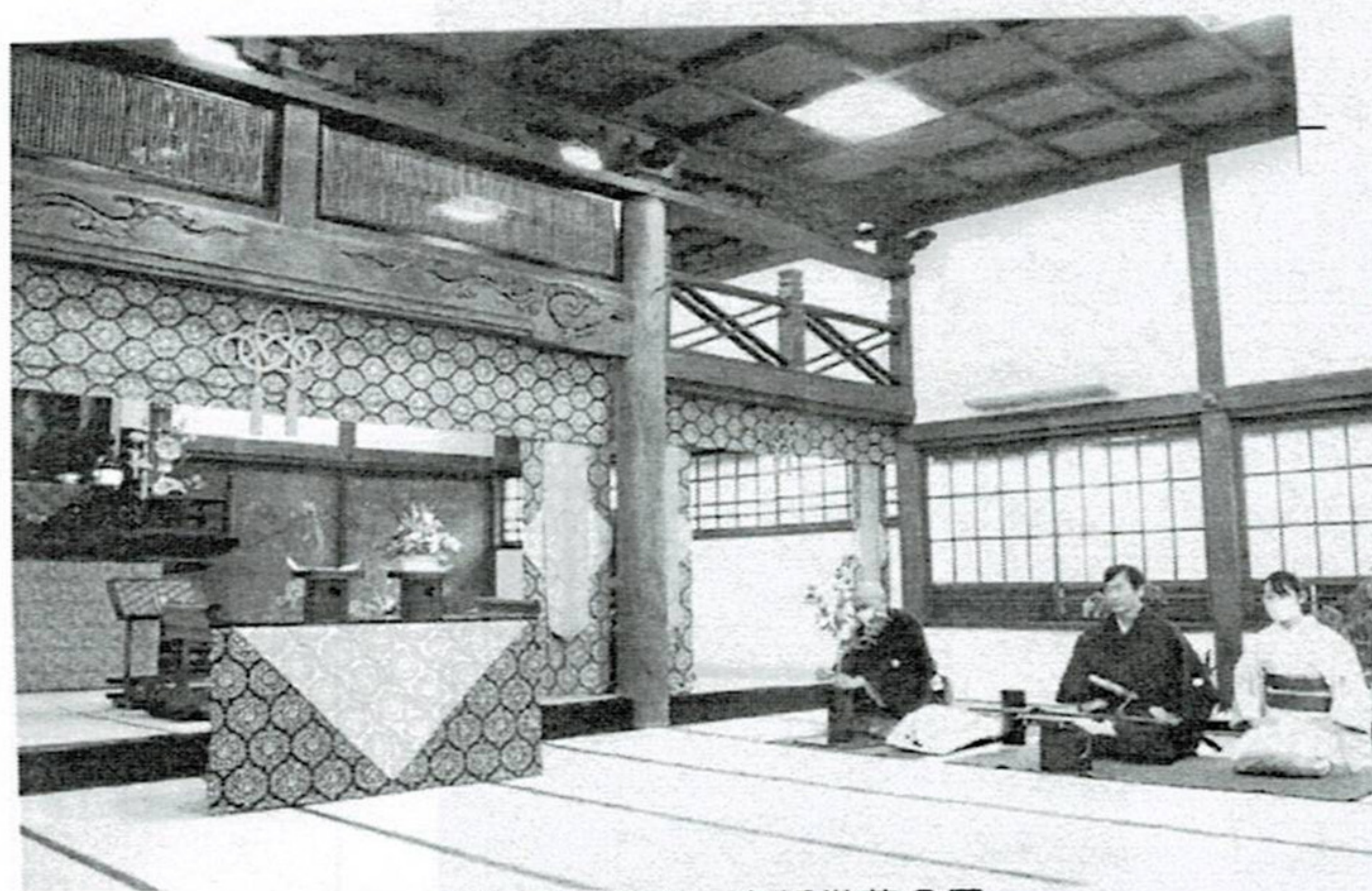
東京新聞



即位三十年を奉祝

「江戸の華會」で供華

流派を超えた有志が集い、いけばな文化の普及、啓蒙に努める特定非営利活動法人いけばな文化振興普及協会（いけばな文化振興普及協会）は、江戸の華會（わがや）を、忍藩松平家の菩提寺である東京都谷中の楞伽山天眼寺（りょうがさん）にて、即位三十年奉祝「第8回江戸の華會」を開催した。



「江戸の華會」奉祝供華の儀

法要は木下信也文武両道塾長による刀道四方祓の儀、渡邊代表より黄菊一对の奉祝供華の儀、祝聖願経の回向が東瑞芳住職よりあり、陛下の聖寿無窮を祝う国祝の祝延を祈願。続いて花供養供華と回向となり一般の参列者を含み経中焼香となった。



木下靖眞氏と作品

午後3時から奉祝回向花供養の法会も斎行された。後援＝東京新聞、日経新聞、協賛＝文武両道塾、投扇鳳凰会。会場には、創美流入門し4年、刀道と共に花の道への精進を続けた木下靖眞氏が若松に30本のストレイチア、紅白の葉牡丹、季節の千両、コデマリを入れ、極楽をイメージした初めての大作を感無量の出品。江原京子さん（小原流）、鈴木康子さん（国際いけばな協会）、日高容子さん（マナコフワアカデミー）、岡安瀬檀さん・真柄瀬月さん・白髪瀬彩さん・本間瀬凛さん・野牧道子さん（眞創）フワアレンジメン（ト）、創美流からは渡邊華家元、華璋副家元、渡邊華扇さん、市川碧水さん、岡田鳳樹さん、杉本彩鳳さん、山内瀬舟さんが慶祝の思いを表現していた。

○東京新聞「多摩の華」連載

30年9月5日（水）号から毎週水曜日朝刊の「多摩・武蔵野版」にいけばな作品の掲載をカラーにて連載しております。流派名の記載はいたしません、いけばなを広く多くの読者の方々に発信するカラー紙面となっております。

プロのカメラマンによる作品写真（データ・紙焼プリント入稿可・スナップ写真不可）がありましたら事務局までお送り下さい。一部掲載紙面をご紹介します。

掲載に関するご質問、お問合せは事務局までお願いします。

旧正月（今年は2月5日）を祝い、背景の杉戸を借景として、松、梅、蘭を用いた瓶華を格調高くいけてみました。
【花材】根引松、白梅、シンビジューム（蘭）、オンシジューム（蘭）、雪柳、ドラセナ
【作者】江原京子＝69歳、新宿区
【問い合わせ】NPO いけばなワークス＝電042(471)4022(代)

重陽の節句を寿ぎ、和洋さまざまな菊盛一式でいけました。
【作者】市川碧水（由香）、49歳
【問い合わせ】NPO いけばなワークス＝電042(471)4022(代)
【花材】洋菊（アナスタシア）、ピンポン菊、スプレー菊、中菊、小菊など

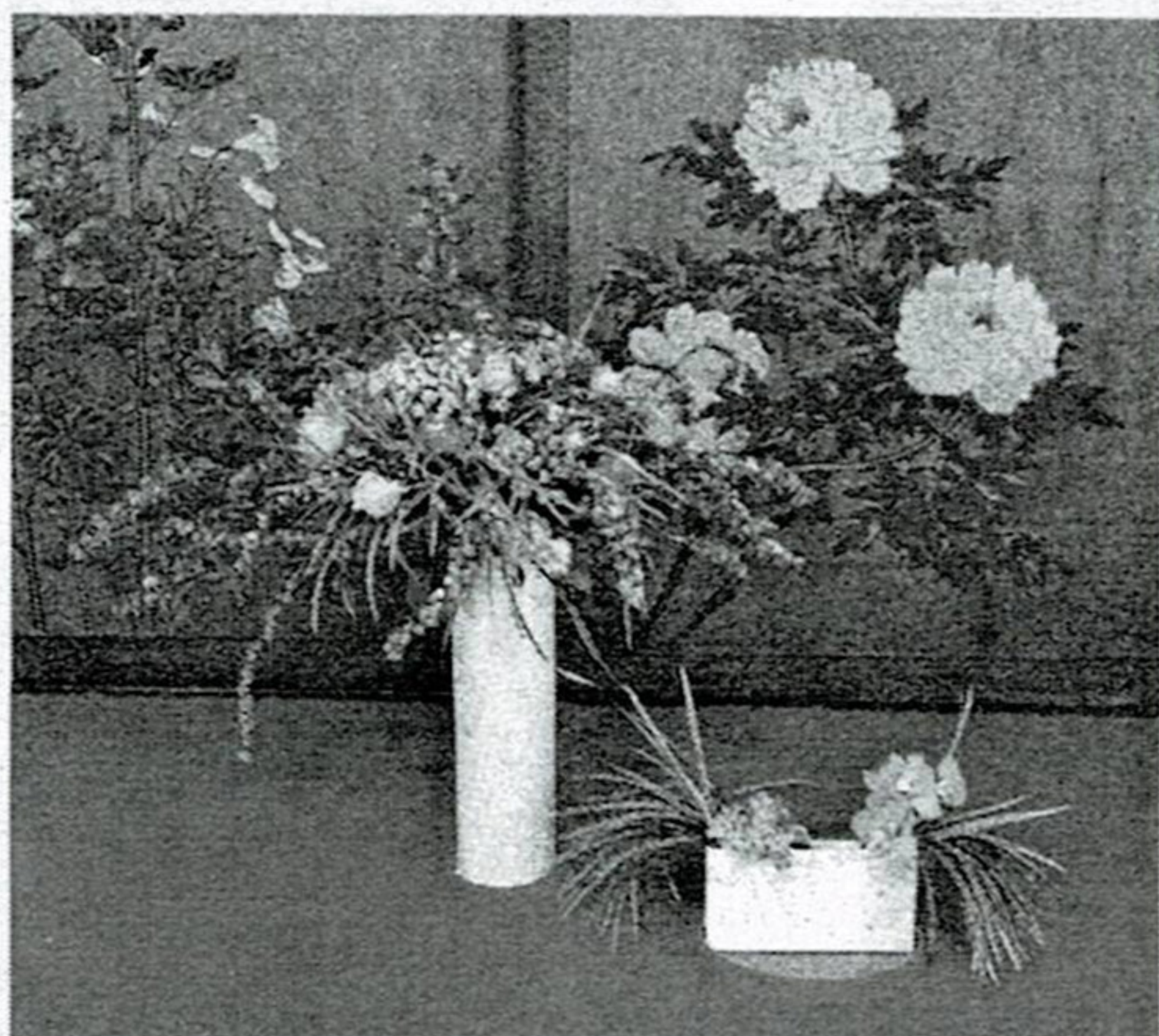
多摩の華

狩野派の筆による杉戸を背景に、天皇陛下御在位30年を寿ぎ、春の花をいけ上げました。

【花材】小手毬、薔薇、レースフラワー、ミスカンサス、シンビジウム、ミニ胡蝶蘭、ユーカリ

【作者】鈴木康子、調布市

【問い合わせ】NPOいけはなワークス＝電042(471)4022(代)



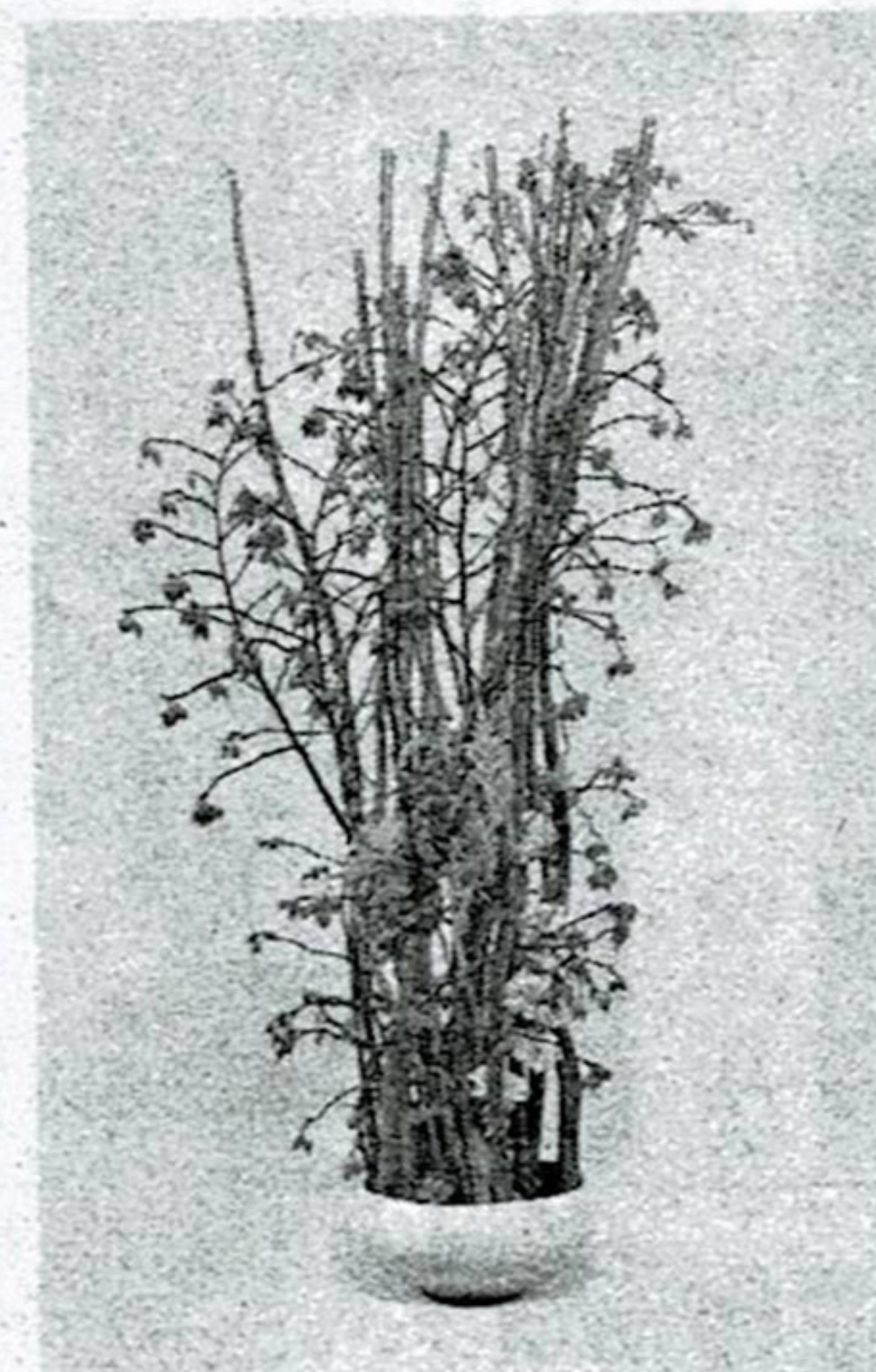
多摩の華

鈴なりに実った真っ赤な鈴薔薇を、青々とした柳の枝と対比させ、オレンジの洋菊をリズムカルに配することで、自然への賛歌を表しました。

【花材】鈴薔薇の実、柳の枝、アマランサス（鶏頭）、洋菊

【作者】松月庵瀬舟（山内奈緒子）＝45歳、川崎市

【問い合わせ】NPOいけはなワークス＝電042(471)4022(代)



多摩の華



唐胡麻の枝を雄大に広げ、秋の草花を包むようにいけることで、収穫の季節を迎える喜びと感謝の気持ちを作品に込めました。

【花材】唐胡麻、鶏頭（ボンベ

イピンク）、コニカル、マリーゴールド、スプレー菊2種、青木
【作者】木下靖真（信也）＝62歳、八王子市

【問い合わせ】NPOいけはなワークス＝電042(471)4022(代)

東京新聞連載

「多摩の華」の御案内

下記の原稿基準を満たしていればどなたでも掲載出来ますので御希望の方は要項を御確認の上お申込み下さい。

多摩の華 掲載要項

【対象】年齢・資格は不問。

学生から大人まで幅広く募集します。

【写真】作品写真はスナップ写真不可とし、プロによる写真であること。画像データでの入稿とします。（スタジオ写真であればプリント写真でも可。その場合は郵送下さい。）

【掲載日】掲載日はこちらにお任せ下さい。原則毎週水曜日版の朝刊にカラー掲載となります。

【掲載料】掲載事務手数料として1,500円が必要となります。定期購読等の縛りはありません。

【掲載紙】・掲載紙は1部、110円にて購入頂く形です。

・多部数（15部以上）購入希望の場合は事前に（掲載1週間前までに）必要部数をお申し出下さい。1部 110円（希望部数は何部でも結構です）

・これを機に新規購読をお願い出来ます方は、申込書がありますので宜しく御協力下さい

【原稿】○作品写真1点（デジタルデータ入稿・プリントは郵送入稿）

○文字原稿

①作品の説明 簡潔に30文字程度

②花材名 極力和名、漢字にて掲載します

③作者 雅号、本名（新聞表記のため、略字となることも有）

④学校名学年、年齢

※流派名は掲載しません。

以上をきれなく明記の上、原稿をお送り下さい。

多摩の華 掲載申込書

| | | | | |
|---------------------------|--------------|--|-----|-----|
| ふりがな | | | | 年 齢 |
| 氏 名 | 雅 号 | | 本 名 | 歳 |
| 学校名 学年 | | | | |
| 在住地域 | | | | |
| 花材名 | | | | |
| 作品 コメント 30 文字 程度 | | | | |
| 掲載紙 購入部数 | 部 ※1 部 110 円 | | | |

上記、掲載手数料 1,500 円に追加購入部数代金を添えて申し込みます。

FAX 送信先 042(471)1616

メール送信先 soubi@car.ocn.ne.jp

(メール入稿の場合は画像添付可、文字原稿は申込書の内容を明記して下さい。)

第9回 江戸の華會 開催の御案内

標記の華會を第9回展として開催いたします。

天眼禅寺は忍藩松平家の菩提寺であり、大変由緒ある寺院での華會となります。

新春を寿ぐ華會として開催いたしますので、是非共御出品頂きたくご案内申し上げます。

なお、本年は25日開場式の後、日舞創舞流を学ぶ子供たちによる奉納演舞が有り、26日開場式には花供養の法會並びに焼香、刀道四方祓、和尚様による法話がございます。是非ご出品と御来場を御待ちしております。

【会 期】 令和2年1月25日(土) 展示：午後1時～午後4時 ※開場式午後1時
26日(日) 展示：午前10時～午後3時

【会 場】 楞伽山 天眼寺(りょうがさん てんげんじ)

住所：〒110-0001 東京都台東区谷中1-2-14 電話：03-3821-7718

交通：地下鉄千代田線「根津」駅下車 徒歩3分

【主 催】 特定非営利活動法人いけばな文化振興普及協會いけばな works (NPO いけばな works)

【後 援】 東京新聞したまち支局(予定)

【協 力】 刀道 文武両道塾 日舞 創舞流

【いけこみ】 1月24日(金) 午前10時～午後4時

1月25日(土) 午前8時半～12時

【あげばな】 1月26日(日) 午後3時半～午後4時半

※華會終了にあたり午後3時より「華供養の法會」を行います。

【日舞奉納】 1月25日(土) 14時～開場式に引き続いて奉納致します

【華供養の法會・刀道四方】 1月26日(日) 午後3時～

＜参加条件＞

・いけばな works の会員であること。(会員の種別は問いません)

正会員、賛助会員、通信会員の3種のうち、いずれかに入っている方、今回入られる方。

＜作品について＞

○今回は「新春を寿ぐ華會」として、生花を主とする作品の制作で、寺院の空間に合う作品をお願いいたします。

○展示場所は畳か板の間ですので、作品設置には花台・敷板等を各自ご持参願います。

自立した作品として下さい。吊ったり、掛けたりは出来ません。

室内を傷つけないようにご注意ください。

○見学者(参拝者)に怪我の無い様、安全面に注意をして制作を願います。

(事務局で最小限のイベント保険に加入します。)

○備品(脚立、ほうき)等は借用出来ませんので、各自でご用意下さい。

ゴミは会場にて受け付けます。

＜作品設置＞

・作品設置場所については原則、事務局にて決めさせて頂きませんが、希望がございましたらお知らせ下さい。本堂、書院、廊下のいずれかとなります。

＜作品寸法＞ 原則として90センチ×90センチ(半畳程度)目安にお願いしたく存じます。

＜席 札＞ 当方で用意しますので、記入内容を申込書に明記願います。(氏名、流会派名)

＜作品の搬入について＞

車両での搬入 …寺院の駐車場はあまり広くはありませんが、4台程度は置けます。

それ以上の台数になるとそのまま止めておくことは出来ません。

搬入後はお近くの有料駐車場をご利用頂く形となります。(寺院の向か

い側にコインパーキング有り。)

宅急便での搬入…事前に宅急便にて花器や作品のパーツ等を送ることは可能です。

但し、生花などの生ものは当日着として下さい。

梱包などは注意の上、寺院側は受け取りのみにて保管いたしますが、作品の破損等に関わる補償はいたしません。

※搬入方法につきましては、申込書にご記入下さい。

【撮 影】 1月25日(土)・26日(土)撮影：岩崎 昌氏

○希望者のみ撮影をする形とします。申込用紙に希望を記入下さい。

【出 品 料】 20,000 円 (※撮影料は含まず。撮影は別途 7,000 円が必要です。)

※学生は学割として 出品料を 10,000 円 とします。

※下記どちらかの方法にてお振込み下さい。

[銀 行] りそな銀行 東久留米滝山支店 店番783 普通口座 3858124

口座名義 NP0 いけはな works

[郵便局] 郵便振込 口座番号 00180-3-0573419

加入者名 いけはな works

※郵便局の場合は同封の振込み用紙をご利用ください。

【補 助】 遠隔地より出品の方には交通費として補助いたしますので、対象者は出品料より差引いてお振込下さい。

※ 条件 いけはな works 令和元年度正会員または賛助会員であること。

※ 対象 会場より100km.以遠…5,000 円補助

200km.以遠…10,000 円補助

<昼 食> 仕出しのお弁当を会期中注文しますので、お弁当希望の方は別紙申込書に希望数を記入下さい。 1折 1,700 円(税込)

お申込

別紙申込用紙にご記入の上、**12月28日までに** FAX または

郵送にてお申込みください。 ※御協力の程宜しくお願い申し上げます。